

ITU-T SG5 会合 (10/12-16) 全体対処方針

資料 2-伝-2-SG5-全対	全体対処方針
資料 2-伝-2-SG5-対一覽	課題別対処方針一覽
資料 2-伝-2-SG5-寄一覽	提出寄書一覽

ITU-T会合への対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

平成21年9月15日

提出元: 日本代表团

開催期間	2009年10月12日～10月16日	開催地	スイス, ジュネーブ
出席予定者(所属): 藤沼, 佐藤(総務省), 服部, 高谷, 鈴木, 本間, 豊永, 前田, 朝倉, 林, 折口(NTT), 垂沢(NTTドコモ), 瀬戸, 関口, 渡辺(NICT), 松尾, 加島(KDDI), 並河, 櫻井(日立) 端谷, 青山(富士通)			
これまでの経緯: ITU-T SG5 では通信施設の電磁防護に関する検討を行っている. SG5 で扱う検討範囲は, 雷防護(試験, 対策, リスクアセスメントなど), 電力線誘導(誘導危険電圧など), エミッション(伝導・放射妨害波), イミュニティ(電磁波に対する耐力)及び人体安全(電磁暴露, 動作電圧等)である.			
今会合での主な検討事項等: 今会合は, 09-12年会期の第3回目であり, 各課題の具体的な議論が進んでいくと考えられる. 今回の会合での重点課題は以下の通りである. 課題3: 無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露 課題4: 通信装置の過電圧耐力 課題8: ホームネットワーク 課題12: 電気通信のEMC勧告 課題15: 電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ			
基本的な対処方針: 今回の会合は, 09-12年会期の第3回会合であり, 各課題の活動指針に沿った具体的な議論が始まることになる. 各重要課題のうち, 以下の重点課題については寄書提出等を通じて意見を述べる. ・課題3: K.guide(EMFによる人体の曝露の管理に関するガイドライン)の審議において, 日本の運用と齟齬がないように対処する. 電界強度測定における測定時間について議論が予定されているが, WCDMAについての検討例を提出し, 10dBのマージンをとれば短時間測定で良いことを主張するための寄書を提出する. ・課題4: 内線ポートの試験法に関して, 試験抵抗値やイーサポートの試験レベル等について議論が行われる. これまでの日本からの提案に沿って内容を確認しつつ, 対応していく. ・課題8: 広帯域ノイズに対するイミュニティ試験規定K.im.bbの勧告案について, 必要事項の精査を進めていくと同時に, 検討すべき課題を洗い出し共有することで勧告化の促進を図っていく. ・課題12: K.NGNやK.48の改訂について審議される予定である. 現状の通信機器のEMC問題と深く関わる問題であることから, 技術的な矛盾点や他国際機関での検討内容との相違がないか等の課題が明確になるように対処する. ・課題15: K.hemp(HEMPの通信システムへの要求条件)およびK.hpem(HPEMの通信システムに対する脅威)の勧告化を受け, K.sec(電磁波セキュリティの適用ガイド)内の関連項目について審議を行う. その他の課題については, 検討方針の審議内容を確認し, 現行の活動方針との齟齬がないように対処する.			

今会合で決定(decision)される予定の勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名	最新文書番号	関連課題番号
K.var	新規	Characteristics of metal dioxide varistors for the protection of telecommunication installations	—	Q13
K.48	改訂	EMC requirements for telecommunication equipment - Product family Recommendation	—	Q12

(注)種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式2)

ITU-T会合への課題別対処方針一覧

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表団

課題番号	課題名	対処方針	寄書件数	備考
1	通信ネットワークの自由化により発生するEMC問題	B		
2	広帯域アクセスシステムに関するEMC	A		
3	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露	B	1	
4	通信装置の過電圧耐力	A		
5	通信システムの雷防護	B		
6	グローバルな環境における電気通信システムのアースとボンディング	A		
8	ホームネットワーク	A		
9	電気通信網に対する電力及び電鉄からの妨害	B		
10	広帯域アプリケーションに対する屋内外のネットワーク構成	B		
11	電気通信網における安全	B		
12	電気通信のEMC勧告	A		
13	防護素子とアセンブリ	B		
14	ガイドと用語の定義	C		
15	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ	A	3	
16	情報社会のEMC規定	B		

(注)対処方針の欄には、A:達成すべき事項がある(積極的に審議に寄与する)、B:達成すべき事項がない(動向把握)、C:静観のいずれかを記入すること。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 5)

I T U - T 会 合 へ の 提 出 寄 書 一 覧
(会 合 名 : I T U - T S G 5 第 3 回 会 合)

	寄 書 名 (和訳)	関連課題番号	分類	提出元 (原案作成元)	備考
1	IMT-2000無線基地局からの放射電界強度時間変動	3	A	NICT, NTT	
2	電磁波セキュリティ規格の適用ガイド 基本勧告 草案 (改定版)	15	B	Rapporteur on Q.15 (NTT, NICT)	SCOPE 073103006 の成果を反映
3	国際会議EMC'09 KyotoおよびCIGREワーキンググループ会合の結果報告	15	C	Rapporteur on Q.15 (NICT, NTT)	SCOPE 073103006 の成果を反映
4	IEMIIに関連した国際会議に関する情報	15	C	Rapporteur on Q.15 (NICT, NTT)	SCOPE 073103006 の成果を反映
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

(注) 分類の欄には、A：問題提起のための寄書、B：新規勧告草案提示の寄書、C：既存勧告案に対する審議進捗のための寄書のいずれかを記入すること。また、寄書の原案作成元と提出元が異なる場合は、原案作成元を括弧書きで併せて記載すること。